

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2021. 4. 20

下水道機構の『新技術情報』 第452号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

山口県周南市にある徳山動物園でちょっとした事件？がありました。
血液検査の結果、オスと判定されたメンクロウのアイくんが4月4日に重さ20グラム、高さ4センチの卵を産んだそうです。

自分が産んだ卵を見つめるアイちゃんの写真と「飼育員どよめく」のハッシュタグで話題になっています。

鳥類の性別検査は血液からDNAを抽出し染色体の違いで判断するそうで、メンクロウのDNAデータが少なく誤判定に繋がったということのようです。

アイちゃんの他にも魅力的な動物たちがいるので、自由に移動できるようになったら是非行ってみたいところの1つになりました！

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第452号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・第395回技術サロンを5月13日に開催します！
- ・「下水道施設の耐水化計画および対策立案に関する手引き」の活用講習会のウェビナー参加受付中です！

■機構の行事予定

- ・今週はありません。

■Tea Break

- ・技術の進歩とは裏腹に
(セーフティライダーさんからの投稿です)

■ピックアップ！機構情報

- ・メッセージ
(ゲノム時代の下水道)

■はしわたし

- ・今回は4月1日付の人事異動による新職員の紹介です！
- ・東京大学 加藤裕之さんから「第2回 下水道イノベーションセミナー@本郷」のお知らせです！

■国からの情報

- ・4/16付下水道ホットインフォメーション

●第 395 回技術サロンを開催します！

日 時：令和 3 年 5 月 13 日(木) 16:00~17:00

場 所：Zoom ウェビナー

講演者：横浜市環境創造局（講演者調整中）

テーマ：(未定)

※詳細及び参加申し込みはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/salon395>

○「下水道施設の耐水化計画および対策立案に関する手引き」の活用講習会をブロックごとに Zoom ウェビナーで開催します！

・北海道・東北ブロックの方：4/26（月） 9:45~11:00

・関東ブロックの方：4/26（月） 13:15~14:30

・中部ブロックの方：4/27（火） 9:45~11:00

・近畿ブロックの方：4/27（火） 13:15~14:30

・中国・四国ブロックの方：4/28（水） 9:45~11:00

・九州・沖縄ブロックの方：4/28（水） 13:15~14:30

※お申し込み期限は、各ブロックのお申し込み人数の上限（各 500 名）に達するか、各ブロックの開催日のどちらかになります。

※詳細及び参加申し込みはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/taisuka-webinar>

機構の行事予定

。○。

・今週はありません

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○。

●技術の進歩とは裏腹に

（セーフティーライダーさんからの投稿です）

わたしはバイクが好きです。なかでもクラシカルな外見のバイクには目を引かれます（乗っているバイクは全くクラシカルではないです）。

不思議と何でも最新が良いと思っていたわたしでも、バイクだけは昔ながらのスタイルが魅力的に感じます。そのようなバイクも排ガス規制等によりどんどん姿を見なくなります。しかし、近日久しぶりに国産バイクでクラシカルなモデルのバイクが発売される情報があり、非常に興味があります。

それでも最近のバイクは電子化が進み、スピードメーターやタコメーターは電子パネルになっていたり、電子制御システムによりペダルをキックしてエンジンをかける機構がありません。それ故にバッテリーが上がってしまうとエンジンを始動するのは困難です。

このような技術の進歩とは裏腹にアナログの良さを感じるものが少なくありません。

以前、テレビ番組でスマートフォンの地図アプリがないと目的地に行けないという内容を目にしました。便利な反面、自ら退化しているようで残念な気持ちでした。

便利なものは大体電力に依存しています。電力がなくなったときにわたしたちは大丈夫

でしょうか。デジタルとアナログのメリット、デメリットを理解し、どちらも使いこなせる良いとこ取りの最強人間になりたいです。

。○○。

ピックアップ! 機構情報

(下水道機構情報 Vol. 16 No. 32 2021.1 冬季号の中から記事をご紹介します)

。○○。

●メッセージ

(ゲノム時代の下水道)

新年明けましておめでとうございます。本年が皆さまにとって幸多き一年であることを心より祈念いたします。また、昨年来のパンデミック状態にある新型コロナウイルス感染症についても、一刻も早い終息を願わずにはいられません。

さて、昨年は新型コロナの感染診断に使われる「PCR 検査」に大きな注目が集まりました。昨年の流行語大賞候補にもノミネートされたこの「PCR 検査」とは、遺伝子検査の一方を指しますが、いま遺伝子技術の分野では驚くべきイノベーションが進んでいます。

続きはこちら

→ <https://www.jiwet.or.jp/2021-04-20-quarterly1>

下水道機構情報 Vol. 16 No. 32 2021.1 (最新刊)

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly32>

WEB 版機関誌下水道機構情報 Plus+ 19号 (最新刊) はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter19>

下水道機構情報はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly0>

ニューズレターはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

審査証明技術全体はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/examination0>

。○○。

はしわたし (みなさまの情報交流の場です)

。○○。

○「第2回 下水道イノベーションセミナー@本郷」のご案内

(東京大学 下水道システムイノベーション研究室)

◆日時

2021年4月23日(金) 15:00~17:00 (Zoomによるオンライン開催)

◆プログラム

<https://www.envsil.t.u-tokyo.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2021/03/669d7751f374a0a2150212787f08c9c9.pdf>

◆参加申込

<https://forms.gle/aVEk5rSDdAc8fSkR6>

◆テーマ

「カラフルな地域を創る未来のインフラと人材を考える」

◆趣旨

東京大学下水道システムイノベーション研究室のセミナーでは、未来のインフラについて産・官・学そして市民と考えていきます。第2回は、下水道の持つ資源・情報の社会還元、さらには、地域エネルギー・通信等との融合について有識者をお招きします。また、日本水環境学会 COVID-19 タスクフォースの最新動向についてもお話頂きます。

◆講演者

1. 東北大学 名誉教授・日本水環境学会 COVID-19 タスクフォース 代表 大村達夫 氏
「カラフルな地域づくりと下水道」
2. 株式会社 明電舎 社会インフラ事業企画本部 ソリューション企画部
部長 平井和行 氏
「未来都市づくりのためのインフラと市民 ～北欧の街づくり等～」

進行 東京大学下水道システムイノベーション研究室 特任准教授 加藤裕之

＼(^-^)皆さまからの情報提供をお待ちしております(^-^)/

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

。oO。

国からの情報

。oO。

↓ここからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション (2021. 4. 16 の情報です)

配信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課

企画専門官 山縣弘樹

=====

国会では、先日衆議院で可決された「流域治水関連法案」が、
今週、参議院に付託されています。

また、脱炭素社会に向けた「地球温暖化対策推進法改正案」も
衆議院で審議入りし、創エネ・省エネの両面で、こちらも今後大きな動きに
なっていくと思います。

今週末の「早慶レガッタ」(無観客)の配信ライブのお知らせも
いただいていますので、ぜひご覧ください。

次号は、26日(月)にお送りする予定です。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○ GKP「第90回早慶レガッタ」で下水道のチカラをPRします(GKP)

○ 都道府県による過疎代行制度の延伸について(国土交通省)
(国土交通省)

=====

○ GKP「第90回早慶レガッタ」で下水道のチカラをPRします(GKP)

早慶レガッタは、隅田川の新大橋から桜橋までの3,750mを舞台に行う、早稲田大学と慶應義塾大学のボート競技大会です。

隅田川は高度成長期に水質汚濁が進み、生き物が住めない「死の川」と呼ばれ、100年を超える伝統ある早慶レガッタも昭和37年から16年間、隅田川で開催が出来ない時期がありました。

そのような中、国と東京都が一体となり下水道の普及に取り組んだ結果、水質が大きく改善され、早慶レガッタは隅田川で再び開催できるようになりました。

下水道広報プラットフォーム(GKP)では、このような経緯を踏まえ、早慶レガッタを下水道のシンボリックイベントとして位置付けており、下水道のプレゼンスアップに向け下水道業界全体で支えていこうとしています。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため無観客で開催予定です。お持ちのスマートフォン、タブレットで下記URLから配信ライブをお楽しみください。

早慶レガッタ公式HP <http://the-regatta.com/>

【早慶レガッタ開催概要】

日時：4月18日(日) 11:15～15:00

会場：隅田川(新大橋から桜橋まで3,750m)

※当日は、早稲田／慶應義塾の女子・高校などのレースが随時実施されます。

メインレースは、14時40分頃スタートの対校エイトです。

レースの合間に下水道、協賛企業の動画も流れます。

後援：国土交通省、東京都下水道局、日本下水道協会

協力：下水道広報プラットフォーム

協賛：東亜グラウト工業株式会社、月島機械株式会社、月島テクノメンテサービス株式会社、

株式会社日水コン、株式会社明電舎、メタウォーター株式会社

○ 都道府県による過疎代行制度の延伸について(国土交通省)

3月31日で「過疎地域自立促進特別措置法」(旧法)が失効し、4月1日より「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」(新法)が施行されました。

旧法第15条に基づき、過疎地域における市町村が管理する公共下水道のうち、広域の見地から設置する必要があるものであって、過疎地域の市町村のみでは設置することが困難なものとして国土交通大臣が指定するものの幹線管渠、終末処理場及びポンプ施設について、都道府県が設置を代行できる

「都道府県代行制度」が設けられておりましたが、新法第17条において引き続き措置されています。

4月1日付けで、国土交通省より「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第17条の規定に基づく都道府県による公共下水道の幹線管渠等の整備について」(国水下水事第79号)が発出されています。

都道府県代行制度の活用を検討される地方公共団体におかれては、法令・通知をご参照願います。

【ポイント】

●指定の対象となる市町村

(1) 自然公園、湖沼法指定地域等であって、財政力指数がその都道府県の平均値以下の市町村(H27人口8000人以下)

(2) (1)の要件に要しない市町村であって、自然公園、湖沼法指定地域等の

市町村 (H27 人口 8000 人以下)

●市町村の負担

(1)は、代行業業に要する経費（国費除く）の1/2以上を市町村が負担。

(2)は、代行業業に要する経費（国費除く）の2/3以上を市町村が負担。

●補助率嵩上げ

財政力指数 0.46 未満の都道府県が行う代行業業について、

「後進地域の開発に関する公共事業に係る国の負担割合の特例に関する法律」の規定による補助率嵩上げを適用可能。

●旧法に基づく代行業業の扱い

旧法による代行業業で、その工事を完了していないものについては、旧法の規定は、令和9年3月31日まで有効。

(参考 過疎法について：総務省 HP)

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/2001/kaso/kasomain0.htm

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/2001/kaso/kasomain2.htm

【参考情報】

◆ 「50年脱炭素」審議入り 再生エネ普及へ促進区域

温暖化法案、衆院本会議 <4/15 産経新聞>

<https://www.sankei.com/politics/news/210415/plt2104150008-n1.html>

◆ 自民党“炭素税”などの議論を開始 <4/12 日本テレビ>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a10afc4b5236f6d7fe7673a6ccd9e8c60d5a2415>

◆ 政府、「脱炭素先行」全国100地域を選定へ…再生エネ活用で自治体と協力

<4/15 読売新聞>

<https://www.yomiuri.co.jp/politics/20210415-0YT1T50048/>

◆ 令和2年度 新エネ大賞 受賞事例 <一般社団法人 新エネルギー財団>

<https://www.nef.or.jp/award/kako/r02/index.html>

【下水道関係】

<経済産業大臣賞>

- ・地域の再エネ最大利用を目指した相馬市スマートコミュニティ事業

https://www.nef.or.jp/award/kako/r02/g_01.html

- ・豊橋市バイオマス資源利活用施設整備・運営事業

https://www.nef.or.jp/award/kako/r02/g_02.html

<資源エネルギー長官賞>

- ・横浜市における先進的環境技術と地域熱供給による密着型地域共生の実現

https://www.nef.or.jp/award/kako/r02/s_01.html

- ・ローカルから発信！ 持続可能なエネルギー地産地消・経済循環モデル（米子市・境港市）

https://www.nef.or.jp/award/kako/r02/s_03.html

<新エネルギー財団会長賞>

- ・浜松市の地域特性を生かした地産地消分散型エネルギー事業（浜松グリッド8）

https://www.nef.or.jp/award/kako/r02/b_03.html

◆ 大阪で15日から下水コロナ監視 塩野義と北海道大、10カ所で

<4/14 共同通信>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/0ae8b5ade6a7a96a377ff82081a58f8692bdab97>

◆ 新宿区内にゴジラをデザインしたマンホールふた設置 鋳型とプレート型2種類

<4/13 みんなの経済新聞>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/46db01656db6ec4725b631a69a1487bba262c7d0>

◆ 町田に設置「ポケふた」紹介 市民文学館で展示 <4/13 産経新聞>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3bb136a7a573658723a48f37a4bfac3e246320a2>

◆ サンドルが流されても取りに行かないで。国土交通省のRPG風

こども向け水難防止動画が秀逸！親子で見て <4/9 Yahoo ニュース>

<https://news.yahoo.co.jp/byline/andorisu/20210409-00231699/>

◆ 仏ヴェオリア、同業スエズ買収で合意—株式価値1.69兆円と評価

<4/12 Y!ファイナンス>

https://finance.yahoo.co.jp/news/detail/20210412-18095010-bloom_st-bus_all

=====

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

○はしわたしのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi>

○ゆいまーるのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru>